



## 行動規範

(倫理)

私たちは、倫理、道徳、モラルをもって社会的役割を全うします。

世代や状況によって徐々に変化するマナーよりも普遍的な価値観を含んでいます。

法令順守はもちろんのこと、適正な出退勤や会社の資産・備品の適正使用など公私の区別をきちんとつけることや取引における公正さなど、公序良俗に反しない行動全般を指します。

管理がルーズになったり帰属意識が弱まると職場内でモラルの低下が起きますが、逆に短期的で表面的な成果を過度に求めすぎると取引面でのモラルがないがしろにされてしまう傾向が出てきます。例えば納期が迫ってイライラしてくると、つい部下や周りの人にアンモラルな言葉を使うかもしれません。

どんなときでも倫理、道徳、モラルをもって社会的役割を果たしましょう。



## 行動規範

### (リスペクト)

私たちは、地域社会、お客様、パートナー、社員、家族、ステークホルダー、取り巻く環境など、あらゆるものに対してリスペクト精神を忘れません。

私たちが在るのも、全ては、地域社会やそれを取り巻く方々のお陰であることを決して忘れてはいけません。常に周りの人に経緯・感謝の精神をもつように心がけましょう。

周りの人とは、上司、部下、先輩、後輩、お客様、ビジネスパートナー、ステークホルダー、家族、タクシーの運転手、駅員、ウェイトレス、時にはライバル会社にさえ、リスペクト精神をもってビジネスを進めましょう。



## 行動規範

(育成)

私たちは、優れた企業になるために、社員全員が自己成長する為の努力を惜しみません。結果、その事が社会への貢献に繋がると考えます。

会社が見ているのは現在のあなたの実力ではなく、今後、あなたが会社に利益をもたらす人材になれる可能性があるかどうかです。今の時代、「会社に利益をもたらす人」とはマニュアルに従順にしたがうのではなく、「自身で価値を生み出せる人間」なので、現状維持型の人材ではなく、成長志向型の人材にならなければいけません。

自己成長するための努力を惜しまない人材がいる会社は、優れた企業になれます。

そういった企業は大きな社会貢献を果たしています。

私たちは、優れた企業になるために、社会貢献を果たすために自己成長のための努力を惜しみません。



## 行動規範

(変化)

私たちは、固定概念に捉われず、周りの環境の変化に常に対応できる企業です。

「変化に対応できた生物が生き残った」というダーウィンの進化論が明らかにした自然淘汰の仕組みは、今やビジネス界でも同様に適用されています。私たちは自己の種の存続だけを考えるのではなく、生態系にいかにかうまく適合できるか、を考えなければいけません。

つまり、ニーズシェアだけ生き残ればいい、という考えではなく、それをとりまく社会の中でいかに周りに目を向けられるか、ということを求められるようになってきています。

そのためには、固定概念にとらわれず、周りの環境の変化に常に対応できる企業でなければいけないのです。



## 行動規範

### （顧客主義）

私たちは、お客様の為にあらゆる活動を行い、お客様の要請を発想の原点とします。

会社は社会的役割を果たすためにあります。それはお客様に奉仕することにより、社会的役割を全うすることができます。私たちの行動は社会的役割を果たすため、しいてはお客様の為に活動を行わなければなりません。

お客様のご指摘をネガティブにとらえず、お客様からのご要望と捉え、それを新サービス、新製品、新事業の発想の原点とし、さらなる自己成長に繋げ、優れた企業に成長していくという思想です。



## 行動規範

(挑戦)

私たちは、出来ない理由ではなく、出来る方法を探すことで新事業領域に挑戦していきます。

出来ない理由をいくら雄弁に語ってもそこから利益は生まれません。私たちが目指すところはある方法を見つけ出した先にあります。できる方法を探し出したとき、それは付加価値となり、新しい事業が誕生します。

「なぜ」出来ないのか、ではなく、「どうやったら」できるのか。

「なぜ」を「どうやったら」に変換して考えるようにしましょう。

しかし必ず出来る方法が見つかるわけではありません。そういう時は仲間や上司と一緒に出来る方法を探すことに挑戦しつづけましょう。



## 行動規範

(好機)

私たちは、誰にでもチャンスを与え、可能性を伸ばし、人としての在り方を尊重します。

チャンスは誰にでもめぐってきます。もしくはめぐってきているはずなのです。

しかしその準備をしていないと、チャンスがめぐって来ても、それを手にすることはできません。

またチャンスがめぐって来ていることにも気がづけないのです。

ニーズシェアでは平等に誰にでもチャンスを与え、可能性を伸ばす努力をしますが、

「チャンスを手に入れるに常に準備をする」ことを忘れてはいけません。



## 行動規範

(未来)

私たちは、ワクワクする社会を創り、夢を形にできる会社です。

わたしたちの活動は、私たちを取り巻く人たちにワクワクするような社会を提供すること、また皆が抱いている夢を実現すること、です。

ニーズシェアらしい発想力、企画力、実行力、技術力を駆使して、私たちは未来を目指します。

私たちが目指す未来はニーズシェア・ビジョンです。



## 行動規範

### (収益)

私たちは、目指す収益は、顧客のニーズに応え、社会に貢献できる事業から得られる収益でなければならない。

どんなに清らかな天使でさえも、社長になったら「利益」を考えなければいけなくなります。

なぜなら企業の目的は社会的役割を果たす、社会に貢献する事業であり、それを継続する為には、利益は絶対に必要だからです。

だから私たちは利益を常に意識しなければいけません。

しかし利益にとらわれ、社会貢献を無視することは決して許されないことです。

私たちが目指す収益は、社会貢献に対する対価でなければいけないのです。



## 行動規範

(組織)

私たちは、イキイキとした組織、思いっきり仕事を楽しむアイデア力を創出します。

会社は団体行動で動く生き物です。

組織、規律を守らなければ、ただの「烏合の衆」に過ぎません。

しかし、堅苦しい組織では、未来に繋がる発想力、アイデアは生まれません。

私達の組織は、イキイキと仕事に励み、思いっきり仕事を楽しみ、

社会・地域に貢献し、人々が幸せになれるアイデアを発信し続けます。



# 笑顔溢れる社会の創造

ニーズシェアの目的や目指すビジョンをスローガンで表現します。

スローガンとは、誰もが直感的にイメージできる言葉でなければいけません。

- ・笑顔・・・ミッションの達成、生活レベルの向上、人としての成長などあらゆる幸福
  - ・溢れる・・・現状維持ではなく、さらなる幸福のために
  - ・社会・・・ニーズシェアを取り巻くすべての人や環境
  - ・創造・・・新しい事業やサービスを作り出すことに挑戦する
- そんな思いを込めています。



# NEXT15

私たちは2015年にニーズシェア生誕10周年という節目に立ち会いました。

新しいメンバーも増え、2016年、2017年と、ミッションステートメント、行動規範を元に会社を大きくして、もっと質の高い、もっと大きな社会貢献を目指さなければいけません。

そして5年後、素晴らしい15周年記念式典を開催できるよう、5年後のニーズシェアを思い描いて、全員で一致団結する、という思いが込められています。

NEXT15を中期事業計画のスローガンとし、各年度計画の達成に全力を尽くしましょう。